

うや
雨夜

雨が降っていた・・・

この雨で雪は溶け去ってゆくだろうと思われた

しかし私の心には

遂にひとつの怒りが湧き出したのだった

それは

雪が　　、陽光にさえ溶けることのなかった雪が

いともたやすく雨に打ち負かされているという

そのことに対する激しい怒りだった

私は今更の如く知ったような気がした

陽光をもってこの世界の頑なな拒否の影を消し去る困難を

むしろ諦めをばら撒く方が

どんなにかたやすく人の心を突き崩しやすいことか

それをもってすれば

安らぎさえ手に入るというわけだ

しかも、永遠の単調の庇護の下で

永遠に麻薬の供給さえ受けられるというのだ

私は今更の如くに気付いたのだった

私自身の足元さえ危うくなっていることに

あの大雪からこの方、5年の間に

この両掌の中に温めていた陽光さえかすかになっていたことに

ああ、私のこの怒りを吸い込むがいい

そして息を吹き返すがいい

鋭く光を研ぎ澄ますがいい

あの雲を貫き通すために

(1990.2.3)